## 行列の基礎

#### 行列の素朴な定義

要素を縦と横に並べて、大きな丸括弧でくくったもの

$$\begin{pmatrix} -1 & 20 & 3 & 123 \\ 4 & -5 & 600 & 4560 \\ 7 & 8 & -9 & -789 \end{pmatrix}$$

#### 和(足し算)の定義

同じ位置にある要素を足す 異なる型の行列に対して、和は定義されない

$$\begin{pmatrix} 5 & 6 \\ -7 & 8 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 1 & -2 \\ 3 & -4 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 5+1 & 6+(-2) \\ -7+3 & 8+(-4) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 6 & 4 \\ -4 & 4 \end{pmatrix}$$

予告:移動で使う

#### スカラー倍の定義

行列の各成分に対してスカラーをかける ※ ここでのスカラー → いわゆる「数値」

$$5 \cdot \begin{pmatrix} 1 & -2 \\ 3 & -4 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 5 \cdot 1 & 5 \cdot (-2) \\ 5 \cdot 3 & 5 \cdot (-4) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 5 & -10 \\ 15 & -20 \end{pmatrix}$$

予告:拡大縮小で使う

#### 積(掛け算)の定義

列と行の要素の積を足し合わせたもの

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 4 & 5 & 6 \end{pmatrix}$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \\ 5 & 6 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} a & b & c \\ d & e & f \\ g & h & i \end{pmatrix} \qquad \begin{matrix} a = 1 \times 1 + 2 \times 4 \\ f = 3 \times 3 + 4 \times 6 \end{matrix}$$

予告:回転で使う

#### 積の特徴1

行列の積は可換ではない

$$B \cdot A \neq A \cdot B$$

#### 積の特徴2

行列の積は結合的である

$$(A \cdot B) \cdot C = A \cdot (B \cdot C)$$

#### 積の特徴3

行列の乗法は加法の上に分配的である

$$(A+B)\cdot C = A\cdot C + B\cdot C$$

$$A \cdot (B+C) = A \cdot B + A \cdot C$$

#### ここまでのまとめ

・ここまでの話が分かっていれば、3D技術を習得 するための行列に関する予備知識は完了

### その他の行列の特徴

・Wikipediaをご覧ください。

https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A1%8C %E5%88%97

逆行列、行列式、…

# サンプルソースはありません